

◆ 会員卓話

「石油について」

木下 賤雄君

その成因と将来に就いて学術的に解明されていないものの一つに石油があげられる。古くは、金属カーバイトや酸化炭素のような無機炭素化合物が水と反応して石油になつたと言う説もあつたが、石油の成分に関するくわしい研究が進んだ結果、現在ではこの種の無機説はほぼ否定され、太古の生物体の成分が変化して出来たと言う有機説が支配的であります。海中にすんでいたプランクトンの様な生物の死骸が地層中にたまって種々の作用を受け変化して石油になつたと言う説が有力ではあるが完全に証明されて居りません。また将来性所謂埋蔵量となれば今後30年位は需要に耐える。いや採掘機械の進歩と調査技術の高度の研究で50年位は大丈夫だと言う説もその信憑性に就いては疑問であり無尽蔵ではないが、その将来に就いて論議する事も必要ないのでないかと言うのが業界の意見であります。

『石油の一滴は血の一滴なり』と絶叫せしめた石油は第一欧州大戦後の石油需要拡大につれて、激しい資源、市場争奪戦を演じ日本をして大東亜戦争に突入せしめた大きな要因とも言われて居ります。日本での石油需要の歴史は明治時代に始まつた次第ですが、数字としては全く零に等しく大正時代でも発電所船舶に利用された程度。急激な需要増となつたのは昭和12年頃で年間500万キロリッターと記録されて居ります。敗戦に依り総べてを失なつた石油業界は朝鮮戦争の昭和26年G. H. Q.の石油製精装置の解禁に依り息をふき返し高度経済成長政策と相俟つて昭和32年1,400万トン、昭和40年7,900万トン、42年11,000万トンとなり、民官需含めて500万トンで戦争に突入した昭和12年を想起する時、感に耐えざるものがあります。

現今日本人口1億として1人当たり消費量は1トンであります。世界の生産高は1965年で30億キロ、中東62%、アメリカ11%、ソビエト9.5%、極東3%、その他14.5%であり、かつての主生産国のアメリカは輸入国であります。身近な問題としての道内需要は通産局統計に依れば昭和41年320万キロで重油40%、揮発油20%、灯油12%、機械油18%、その他10%で重油の全国平均が60%と比較し道内の産炭地保護政策の特殊性が見られます。然し暖房用灯油の消費量は41年度35万トン、本年の需要数は55万トンと大幅の数字が予想されて居り、工業用アスファルト需要数全国平均0.5%を超過する2%と共に将来の進出が予想されて居ります。

東京3,400万キロ、九州780万キロ、四国、九州400万キロの消費量に比し道内消費は最下位ではあります。開道100年今後の経済開発に依り石油需要の拡大は注目すべきものと存じます。



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

194号

368-12-13

ロータリークラブ

第178回例会

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム

「クリスマス家族会」

いと高きところでは、神に栄光があるように、
地の上では、み心になう人々に平和があるように。
(ルカ2.40)

◆ 司会 侯野会長 ◆ 斉唱 手に手つないで

◆ ビジター 中瀬公一君(江差、採石)

梅津福次郎君外10名(函館)坂野鉄男君外11名(函館東)

◆ 会長報告

師走の候とて何かしら、あわただしさを感じます。本日は多数のビジターの方の御参集があり厚く御礼申し上げます。

1. 山形会員が仙台西R.C.のバナーと交換して参りました。
2. ハワイR.C.ニュージーランドR.C.よりクリスマスカードが参りました。

◆ 親睦委員長

1. クリスマス家族会出席の有無通知は金曜日まで必着願いたし。
2. プレゼント交換品には表面に名刺を必ずつけて。

◆ ロータリーだより (例会日、例会時間変更のお知らせ)

1. 釧路R.C. 日時12月24日(日)PM.3:10~
場所 銀の目(釧路市末広町2丁目)
2. 室蘭R.C. 日時12月21日(木)PM.5:30~
場所 中央町 ニューブラザー
3. 森 R.C. 日時12月16日(土)PM.5:30~
場所 森町産業会館

来る1968年1月3日(水)の例会は休日のため休会となります。

4. 網走R.C. 日時12月26日(火)PM.5:00~
場所 山水閣ホテル
5. 弟子屈R.C. 日時12月16日(土)PM.5:00~

場所 弟子屈子宝ホテル

※ 出席報告

1. 本日の状況 会員36名 出席27名 欠席9名
2. 前回の確定率 会員36名 出席28名 欠席8名
他クラブ出席8名 出席合計36名 出席率100%

※ スライド 「よりよき世界を創るために」 解説 成田会員

世界の人口30億の内、その3分の2は文盲であり、その平均年齢は40才であるという。地上の楽園に斯様な人類の格差があつて良いのであろうか。鮮明なカラースライドは世界各国のロータリアンの実践行動を紹介し、よりよき社会づくりの意義を会員に伝えて深く感銘を与えた。

◎ ロータリアンとしての

あなたの資格を効果的に

- 0 ロータリーの活動を自ら進んで参加すること。
- 0 あなたの職業に成功を収めることにより指導力を発揮すること。
- 0 あなたの地域社会や国家に対し忠誠を捧げ、あらゆる機会に奉仕すること。
- 0 他国の人々の問題によく通じ、これが理解を深めること。

(ルーサーH. ホツジス会長 メッセージ)

一週一言

どうも、現代はまだ、人間を充分生かしておらぬ様に思われる。勿論人々によつて能力も、その可能性も同じではなく、詳しく見ればそれぞれ違つてあろう。然し、その個人差などというものは、もし人間が真剣に努力を惜しまなければ、そして方向を誤らずに適当な方向を選べば、努力のあるところには必ず道があり、進むほどによく思われる。

我々の力を結集して人々の可能性に美しい花を咲かせ、あらゆる人間に最高の実を結ばせよう。それこそロータリアンの目ざす奉仕の中でも、最大の奉仕であり、明日のロータリアンの成長にとつても最も根本的な力である。

ロータリアンの友 1967年1月号

人間礼讃.....才能とその可能性 平沢 興氏



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通電195号

1968-12-20

ロータリークラブ

第179回例会

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム

「過ぎし1967年を振り返りて」

※ 司会 俣野会長 ※ 斉唱 我等の生業

※ ゲスト、ビジター 共になし

● 幹事報告

1. 例年の如く各クラブより例会時間、例会場の変更通知が参つて居ります。メークアップする場合、若し変更事項を知らずして例会場に定時刻に出席した場合はメークアップしたものと認定致しますので御留意ください。
2. 12月27日当クラブ例会は1-8時入川で行ないますが、出欠の有無の乗書は特に出しませんので、御留意ください。
3. 新年の例会は1月10日より行ないます。

※ 出席報告

1. 本日の状況 会員36名 出席34名
2. 前回の確定率 会員36名 出席27名 欠席9名
他クラブ出席8名 出席合計35名 出席率97.22%
3. 他クラブ状況 函館R.C 96.12% 函館東93.24%

「クリスマス家族会」

いと高きところでは、神に栄光あるように

地の上では、み心になう人々に平和があるように

(ルカス. 40)